

第五回 2017 10/27(金) 15時～18時

起業と第二創業へのチャレンジ ～「真」の経営者に近づく秘訣とは?～

参加頂きたい方：中堅・中小企業の経営者・後継者・事業承継を計画の方
リーダー及びリーダーを志す方

自分の夢や志を実現しようとする自己実現への思いの強さが、起業における「様々な苦境」を乗り越える大きな力となっています。また、第二創業の多くは、新社長が起業者の気持ちで、前社長から事業を引き継ぐとともに自己実現を目指した新事業を第二創業として取り組んでいます。起業家、後継者が、「様々な苦境」を乗り越えることによって、次第に「真」の経営者へと近づいていきます。

起業家や事業承継した新社長が、「真」の経営者に近づくための秘訣を「思考回路」と「人的ネットワーク」の視点から解きほぐしながら、皆様と一緒に考えてみたいと思います。

- ・ 起業家、後継者が「真」の経営者に近づくには?
日本工業大学 専門職大学院 教授 小田 恭市
- ・ 「真」の経営者に近づいた事例 ～ケーススタディ～
経営者（本大学院修了生）による講演・3名
- ・ 「真」の経営者に近づくためには?
～パネルディスカッション～
日本工業大学 専門職大学院 教授 三宅 将之（モデレーター）
- ・ 起業、第二創業へのチャレンジに向けて
日本工業大学 専門職大学院 教授 小田 恭市



主担当：小田 恭市
日本工業大学 専門職大学院
教授・研究科長

費用・お申し込み方法

費用：無料

定員：各回 30 名

お申し込みは先着順です。定員を超えるお申し込みを頂いた場合、お断りする場合があることをご承知おき下さい。

場所：日本工業大学 専門職大学院 3F ホール



神保町駅 A1 / A6 出口徒歩 2 分

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-5
【TEL】03-3511-7591 / 【FAX】03-3511-7594

ウェブサイトからのお申し込み

<http://nitmot.jp/sme2017> もしくは
右の QR コードを読み取っていただき、
『“SME スピリットによる実践” セミナー』
のページからお申し込みください。



他のお申込み・お問い合わせ方法

・電子メール

mot@kanda.nit.ac.jp 宛に
題名を『SME セミナー』とし、
『お名前・参加したい回（複数可）・お電話番号・返信用メールアドレス・（質問内容）』を本文に明記し送信下さい。

・お電話

【TEL】03-3511-7591（専門職大学院事務局）
平日 14:00～22:00 土曜 10:00～18:00
へお電話いただき、『SME セミナー問い合わせ』の旨をお知らせください。



NIT MOT で検索



経営革新・リーダー育成の悩みを
中小企業向けビジネススクールが
豊富な卒業生の生の声を事例に
やさしく、わかりやすく解決

“SME スピリットによる実践” セミナー Small and medium-sized enterprises（中小企業） 変化を率先する経営とリーダーシップ

Small Medium Enterprise
Management Of Technology

第一回	2017/6/10	(土)
第二回	2017/6/24	(土)
第三回	2017/7/8	(土)
第四回	2017/9/9	(土)
第五回	2017/10/27	(金)

第一回
2017
6/10 (土)
15時～18時

持たない強みを活かす (相対的知財力) ～中小企業の契約・交渉そして知財～

参加頂きたい方：中堅・中小企業の経営者・リーダー及びリーダーを志す方
※契約・知財知識は不要です

専門特化した中小企業にとって、知財は『持たない強み』を活かす重要な武器となります。技術・製品領域が広いと強力な知財網を持っていてもどうしても隙が出来ますが、専門特化することで相対的には強力な知財を持つこととなり、有利に立つことが出来ます。しかし、初期費用が発生するため、知財化は遅れがちとなります。中小企業 (SME) にとって大事な契約・交渉と知財や、また自社の技術アピールや社内の活性化とも関係づけるながら、中小企業にとって知財経営の在り方を考えて行きたいと思います。

・中小企業にとっての契約・交渉・知財の重要性
日本工業大学 専門職大学院 客員教授 井上 一

・新事業開発における契約と知財マネジメント
日本工業大学 専門職大学院 客員教授 中澤 俊彦

・知財経営の実践と変化
株式会社住田光学ガラス 取締役 大和 紀雄
株式会社ナカボーテック 執行役員 吉田 倫夫

・まとめ
日本工業大学 専門職大学院 教授 清水 弘



主担当：井上 一

日本工業大学 専門職大学院 客員教授
リバーフロー国際特許事務所 パートナー 弁理士

第二回
2017
6/24 (土)
15時～18時

「デジタル革命の主戦場はリアル／SMEの世界に移行」 ～ビジネスイノベーションを駆動する IT 活用～

参加頂きたい方：中小企業や IT 企業 (含む企業内 IT 部門) の経営者・リーダー及びリーダーを志す方

第 2 回セミナーでは、ビジネスイノベーションを駆動するために AI や IoT などの情報技術の有効活用に向けたアプローチと事例を紹介します。例えば、IT シミュレーション能力を駆使して、“失敗に伴うコスト”を低減、すなわち試行錯誤の回数を増大し、不確実性への対応を図ることにより、有効で効率的な意思決定を行うことや、自らの業務を俯瞰的に見る複眼視点の必要性について考えます。

・ビジネスイノベーションを駆動する IT 活用
日本工業大学 専門職大学院 教授 三宅 将之

・【ケーススタディ】インキュベーションプログラム
株式会社キューブシステム
執行役員 金融システム本部 副本部長 斉藤 正晃

・製造業 IoT の動向と必要とされるスキル
東洋ビジネスエンジニアリング株式会社
ソリューション事業本部 IoT エンジニアリング本部長 志村 健二

・すべての業界で必要となる『複眼の目』
日本工業大学 専門職大学院 教授 清水 弘



主担当：三宅 将之

日本工業大学 専門職大学院 教授

第三回
2017
7/8 (土)
15時～18時

「小さな機会から大きなインパクトへ」 ～IoTで進化する施工・工事現場サービスを考える～

参加頂きたい方：現場施工・工事現場サービス及び関連製造業の経営者・リーダー及びリーダーを志す方

土木や建築の施工・工事現場などにおいては、忙しい中で人手不足に直面しております。現場においても従来の技術に加えて、IoT、AI やロボットなどのソフト技術の革新が進んでおります。現場のプロとして、また経営に何らかの形で携わる立場として、従来とは異なる視点でのリーダーシップの発揮が期待されます。

第 3 回セミナーでは現場サービスのプロとして、また現場に製品を提供するメーカーの立場として、これら新しい技術を活かした経営やリーダーの在り方を考えて行きたいと思います。

・IoT時代の現場のプロフェッショナル
日本工業大学 専門職大学院 教授 清水 弘

・現場の製品への取り組み 現場製品企業はなぜ高収益か
株式会社ナカボーテック 執行役員 吉田 倫夫

・現場のプロフェッショナルへの教育とその効果
株式会社イワサ&M's 工事部長 吉岡 慎雄
株式会社 and 代表取締役 大塚 美幸

・まとめ
日本工業大学 専門職大学院 教授 清水 弘



主担当：清水 弘

日本工業大学 専門職大学院 教授

第四回
2017
9/9 (土)
15時～18時

「やりたい」をやってしまう。生き生き活動するスペースを 自ら作る ～リーダーとして足りない何かを見極める～

参加頂きたい方：企業規模を問わずリーダー及びリーダーを志す方
※もちろん経営者も歓迎です

不確実性の高い時代において、誰も皆さんの将来を保証することはできません。こんな時代に必要なことは、自身が望めば出来ることに取り組み自分のスペースを作っていくことが大切です。ただ変化の激しい時代に、そのために自身に何が不足しているか、何を補う必要があるのかを見極めるのも難しくなっております。

第 4 回セミナーでは、“「やりたい」をやってしまう。生き生き活動するスペースを作る”ためにどのような、備えや動き方が必要なのか、新しいリーダー像を考えてみたいと思います。

・リーダー人材育成の最新動向
日本工業大学 専門職大学院 教授 萬代 憲司

・生き生きと活動するための備えや動き方
日本工業大学 専門職大学院 教授 清水 弘

・ビジネススクールの学びと自分自身の変化
株式会社ナカボーテック 執行役員 吉田 倫夫

・まとめ
日本工業大学 専門職大学院 教授 清水 弘



主担当：萬代 憲司

日本工業大学 専門職大学院 教授

各セミナーの講演内容、時間などは変更の可能性があります。

戦後生まれの企業も 70 年がたち 100 年が視野に入りつつあります。若い企業においても、その社会的な意義拡大のためには継続発展が重要です。ダーウィンは、「最も強い者、賢い者ではなく、生き残るのは変化できる者である。」という言葉を残しています。不確実な世の中で最も重要なことは、変化に飲みこまれず自ら変化することです。規模の小さな企業の中に、大企業タイプとは異なった、あたかも SME スピリットとでも呼ぶべきような、変化を率先する経営やそれを実践するリーダーを見出すことが出来ます。これを 5 回のセミナーで皆様とともに考えていきたいと思います。

※SME：Small and medium-sized enterprises (中小企業)